

1419 歴史時代に発生した地震・火山などの災害に関する多角的な研究  
担当者 佐竹健治 (satake@eri.u-tokyo.ac.jp)

・実施機関（代表機関）名

東京大学地震研究所，東京大学史料編纂所

・研究目的

歴史資料などに基づき，歴史時代に発生した地震・津波・火山災害などに関して，当時の人々の対応や教訓などを検討する。現代とは異なる社会状況の元で発生した災害時における対応や教訓，復興過程などから，今後の防災・減災施策，復興施策などの検討に資する材料の提示を目的とする。

また，地震・津波・火山噴火に起因する災害だけではなく，気象災害や火災など半ば人為的な災害についても検討の対象とし，日本列島における自然災害史の全体像の提示を目指す。特に，首都直下地震の発生が懸念される関東地方，南海トラフ沿いでの海溝型巨大地震の発生が懸念される東海・南海地方で，歴史時代に発生した災害事例を研究対象として，自然災害における地震・津波・火山災害の特徴の解明を目指す。